

NGO 京都 AALA 公開講演会

パレスチナの歴史と現在、 共存・平和の展望は!?

「パレスチナ」問題は 21 世紀に積み残された最大の植民地問題です。民族自決権をめぐる最も重要な課題の一つであり、アラブ人にとって植民地主義に対する民族解放運動という大義であり続けています。各国政府は民族自決権を守る側に立ち、一刻も早くパレスチナの地に真の共存と平和な日常を…との願いを込め、京都 AALA は今回、講演会に取り組みます。多数の皆さんのご参加をお待ちしています。

[講師] 今野 泰三 (Taizo IMANO) 氏

1980年 東京都生まれ。現在、大阪市立大学都市文化研究センター特別研究員。日本国際ボランティアセンター (JVC) パレスチナ事業現地代表。



日時: 2017年3月18日 (土)

PM 2時～

会場: 「鴨沂会館」新館 2階 (「荒神口」バス停下車

荒神口通りを西へ徒歩約1分、府立鴨沂高校北側)

資料代: 500円

主催: 京都府アジア・アフリカ・ラテンアメリカ連帯委員会

協力: 京都平和委員会 青年学生部

*当「講演会」会場は都合により、上記会場に変更致しましたのでお間違いのなきように…。

お問合せ等は京都 AALA 事務局(辻崎)まで ☎090-1917-0193 Eメール/tjsktdys.willbe.w11@gmail.com